

私は、六諭会を代表して、請願第4号全ての子供たちに行き届いた教育を求める請願に対し、反対の立場で討論させていただきます。

日頃より、教職員の皆様には、野田市の子供たちの教育においてご協力いただきましてありがとうございます。

野田市には、小学校数20、中学校数11ですので体育館は合計31棟になりますが、令和元年6月の立川市の体育館の空調設備の設置の資料によると（東京都の支援あり）、学校数26、天井吊り型エアコン総数450台で電気式14億3,000万円、LPガス式11億4,400万円、都市ガス式17億1,600万円、また据置型エアコン総数155台で電気式5億7,200万円、ただしガス配管、ガス貯蔵部分、電気配線付帯工事等などを除いたという業者へのヒアリングがあり、設置費だけで20億円以上かかると予想されます。

そして、今議会での竹内議員の質問の答弁にもありましたように、市の施設の老朽化対策については、総務・企画財政・生涯学習・学校教育の各々の部長を中心に各課長でプロジェクトチームが組織され、11月17日に第1回の会議が開催されました。また、それとは別に人選した専門委員による会議を今年度末までに進め、学校施設を含めた公共施設の長寿命化計画が策定されています。したがって、おのずと現施設の有効性、施設の統廃合、優先順位等も検討されています。

その上、新型コロナウイルスの影響により、来年度の市税の歳入も14億円減収の見込みとの報告もあり、まして今年度より1年後、2年後の方が経済への影響が大きいとの予測があります。

このように、野田市の今後の厳しい財政を考えると、単に全ての小中学校体育館に、また早急にエアコンを設置することは難しいと思われれます。

よって、以上の理由によりこの請願には反対といたします。